

名古屋市立東部医療センター 消化器外科



【当院の理念】

当院は市民のいのちと健康を守り、「奉仕」「満足」「笑顔」が見える、質の高い医療を提供することを理念として掲げています。

【当院の特色】

我々消化器外科は現在8名で診療を行っております。専門医、指導医とも多数在籍しており、同時に複数の手術があっても安定した治療を行う事ができます。日本内視鏡外科学会技術認定医が1名在籍しており、腹腔鏡下手術も積極的に取り組んでいます。

上部消化管は主に食道癌、胃癌の手術を行っております。胃癌の手術では、当院は進行癌が多いため、開腹手術と同等の手術内容が担保できる約30%の症例に対して腹腔鏡手術を行っております。下部消化管は主に結腸癌、直腸癌の手術を行っており、約80%の症例に対して腹腔鏡手術を行っております。胃癌と同様に進行例が多く、腸閉塞を来している症例も多いのですが、消化器内科に肛門からチューブを留置していただいて減圧することで人工肛門を作らずにすむように心がけています。肝胆膵の悪性腫瘍は大腸癌の肝転移を含む肝臓の悪性腫瘍や膵癌、胆のう癌、胆管癌に対する手術を行っております。膵癌や胆道系の癌は臓器周囲に重要な血管が存在し、これらに癌が浸潤することも多いのですが、合併切除することで病巣が取りきれると判断した場合は心臓血管外科の協力を得て切除再建し治癒切除を目指す事ができます。

緊急手術としては急性虫垂炎、急性胆のう炎、腸閉塞、腹膜炎に対する手術があります。当院は「断らない救急」を目指しており緊急手術も多いのですが、麻酔科医や手術室スタッフの協力を得てほぼ全例腹腔鏡下手術で対応しています。

当院の症例の特徴として、高齢者、術前から身の回りの事を自力で行う事が困難な症例、栄養状態や全身状態不良の症例、緊急手術などが多いといった特徴がありますが、安全かつより低侵襲な手術を行い、各6床あるICU、HCUで集学的治療を行うことができ、National Clinical Databaseのデータによる全国集計と比較しても遜色ない成績を収めております。

平成31年度に新病棟が開棟予定であり、現在建設工事中です。工事の騒音、駐車場の減少などでご迷惑をおかけしておりますが、新病院開棟にむけ全職員が一丸となつてがんばっています。

病床数	498床
手術件数 (2016年)	695件
日本内視鏡外科学会 技術認定医	1名